

◆事業方針（計画等における位置付け）

日の出町教育委員会基本方針及び主要施策4「町民の教育参加」と「学校経営の改革」の推進に沿って、「学校・家庭・地域及び関係機関の連携による子供たちの健全育成」に努めている。

また、日の出町教育推進計画主要施策3「開かれた学校づくりの推進」において、学校運営の改善を図るとともに学校支援体制を整備・強化するために、学校支援ボランティア推進事業の推進と、日の出町学校支援人材バンクを創設した。

◆地域学校協働活動・運営委員会（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等を含む）

日の出町では、町立小学校2校・町立中学校2校において日の出町学校協働本部を設置し、各校に1名の地域コーディネーターを配置し、4校全体を統括する統括コーディネーターを1名設けている。各校では地域コーディネーターが中心となり、学校支援ボランティア運営委員会を年2回開催し、ボランティア相互の連携・情報交換・交流等の大きな役割を果たしている。運営委員会では、各ボランティア団体の代表が成果や課題を話し合う中で、それぞれの活動に関心を寄せ、つながりを見せる活動も広がっている。教育委員会担当者も各学校の取組状況把握のため、学校で開催される学校支援ボランティア運営委員会へ参加し、各ボランティアから情報集約の後、本事業の適切な予算措置を行い、執行状況も確認している。

◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

町報「教育ひので」で学校支援活動の内容を紹介しているほか、学校スケッチというページで学校から原稿を頂き、ボランティア活用の教育活動の様子を掲載している。

また、コーディネーターが各活動の様子を取りまとめ、ボランティア通信を発行している。さらに、学校のホームページ・ブログ等で活動を広く発信するよう指導・助言も行っている。

◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

統括ボランティア・全校の地域ボランティア・副校長・教育委員会事務局で構成される「日の出町学校支援ボランティア推進協議会事業運営委員会」を年2回開催し、各校の計画・取組事例について発表を行っている。コーディネーター間の情報交流の場となっており、活発な意見交換が行われている。

また、東京都主催のコーディネーター基礎研修へ参加し、育成を図るとともに、教育委員会担当者が学校訪問を行い、具体的な活動を参観し、管理職等から聞き取りを行い、必要な支援要望を受けるようにしている。

◆成果

- 町立小・中学校全校実施に向けた学校支援体制作りのため、日の出町学校支援人材バンクを立ち上げ、地域人材を確保した。今年度は全5校中4校が実施済、平成30年度は全校実施する。
- 地域の自治会ボランティア（隊員約40名）により児童・生徒の登下校時の通学、防犯パトロールを実施している。
- 毎年ボランティアの方々に「感謝の会」を実施し、日頃の活動の感謝を伝えている。

◆課題・展望

- 平成30年度は全校実施となるため、各校との連携を高め、更なる充実を図る。
- また、日の出町学校支援人材バンクを有効活用し、地域人材と学校をつなぐ体制を強化していく。